

歯は治らないの？

皆さん、虫歯になったら歯科医院に行つて治療してもらおうと思いますが、削って詰めたり被せたりして、「はい！もう治った」と安心していませんか？今回は歯の治療に対するの誤解について書いていきます。

皆さんは怪我をしたら病院に行つて治療してもらおうと思います。擦り傷などは消毒して絆創膏を貼ったり、骨折したらギプスで固定したりします。そして、しばらくすると傷口は自然に治り、絆創膏やギプスを外しても大丈夫になります。では歯はどうでしょうか？虫歯の所を削って詰めます。絆創膏を貼っているような状態です。しばらくして詰め物を取ったら傷口は自然に治って・・・ないですよ。削った穴は開いたまま、傷口はずっとあるままです。再石灰化と言って、穴が開いていないごくごく小さな虫歯は自然に治りますが、大きく空いた穴はもう二度とふさがることありません。皆さんが治ったと思っていた状態は、実はずっと絆創膏を貼ったままの状態なのです。

絆創膏は、粘着力がなくなったり隙間ができたなら、剥がれてしまう事があるのと同じように、詰め物・被せ物が取れることはありますし、永久に貼っていられる絆創膏はないので張り替えるのと同じで、永久的な詰め物・被せ物もないので、いつかやり替えが必要になります。また、歯ブラシをしっかりとせずにプラークがべったり歯についているのは、絆創膏を貼った傷口を泥水の中につけているのと同じです。それではまた感染を起こして、もっと悪くなってしまうですよ。

歯は自然治癒能力のない組織です。虫歯で削ってしまったり、無くなったりしたらもう二度と元には戻りません。歯を守るためには、出来るだけ削らないようにする努力が、なってしまったら出来るだけ削らない、隙間のできない精度の高い治療が必要なのです。

院長 山田

5月・6月の 矯正診療日

5/5 5/17
6/2 6/21

5月・6月の 臨時休診日

5/9
研修会の為

5/16(5/17)
6/20(6/21)
木曜診療の
振替の為

6/5
10:30~14:00
院内勉強会の為

スタッフコラム

皆さん、こんにちは！

突然ですが皆さんは“笑うこと”がどのくらい体にいいことかご存知ですか？『笑う門には福来たる』という言葉があるように、笑うことは私達の体にたくさんの影響を与えてくれるそうです。例えば、脳が活性化されて記憶力

がアップしたり、血の巡りがよくなり新陳代謝が活発になったり、自律神経のバランスを整えてストレス解消にも役立つと言われていきます。更には、免疫力を高め、笑いがガンやウイルスに対する抵抗力を高めるといことも科学的に証明されているそうです。新年度がスタートして、仕事や勉強が忙しくあまり笑う機会がない

という方も多いと思います。そんな時にこそ、笑って辛いことや大変なことも乗り越えて健康でいれたらと思いました^^)

受付・助手 安藤



お知らせ

H28年1月より矯正日を除く木曜日と隔週日曜日を休診とさせていただきます。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご理解のほどどうぞ宜しくお願いいたします。

今月の駐車場混雑注意報

毎週火・土・日曜日、10日(木)、25日(金)、30日(水)

C&Cデンタルオフィス